

# 令和元年 第1回 藤枝市デスポーザプロ研修を開催

企画広報委員会

直接投入型デスポーザを実施しているエリアでは、デスポーザへの認知が低くなかなか普及が進んでおりません。そこで、当協会では、「正しい場所で正しくデスポーザをご使用していただく活動」として、藤枝市の業者各位にデスポーザの専門家になっていただくことを目的に、デスポーザプロ研修を下記で開催いたしました。

- 日時 : 令和元年 6月14日(金) 14:30~17:00
- 場所 : 藤枝市駅南図書館 会議室
- 主催 : NPO 法人デスポーザ生ごみ処理システム協会
- 協賛 : 藤枝市環境水道部下水道課
- 参加者 : 23名

(リフォーム会社、下水道指定工事店、デスポーザ工事・代理店等が参加)

まず、西総務委員長から当協会の活動をご紹介いただき、金子企画広報委員長から本研修の全体概要、藤枝市環境水道部下水道課から、藤枝市の状況についてご説明いただき、研修が始まりました。

研修は当協会の直接投入型デスポーザガイドライン(案)に沿って行われ、今回は主にデスポーザの基礎的な知識を、金子企画広報委員長が講師となって実施いたしました。

最後に、西守技術委員長がファシリテーターになって、今回の講習を終えてわかったことや、不明なこと、デスポーザの長短等について参加者に発言いただき、活発な議論を行いました。

参加者からは、『デスポーザが危なくないことがわかった』、『ごみの削減効果がすごい』、『清潔な生活になる』といった肯定的な意見と共に、『デスポーザの金銭価値が実感できない』、『どうやってお客さまに勧めるかわからない』、『キッチン排水口の大きさや形状が制限されるので設置できないケースが多いのでは』といった実場面を想定した懸念も多く示されました。

藤枝市デスポーザプロ研修は、藤枝市上下水道部下水道課のご理解とご協力をもとに、令和元年度で全3回開催することになっており、今回の意見を参考にして、お客さまへの提案例や、不具合への電話応答例等を補完していくことにしました。

今回は藤枝市浄化センターに場所を移し、9月を目途に実際にデスポーザに触って、生ごみを破碎していただき、その利便性や清潔性を参加者に実感していただく予定です。

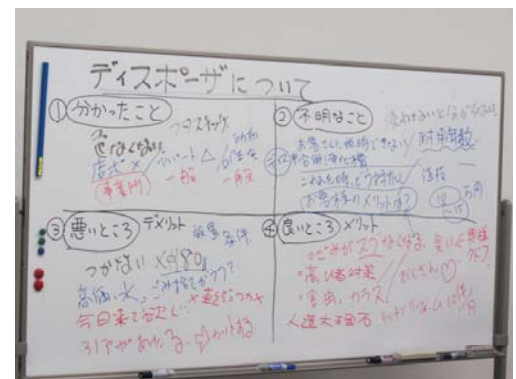
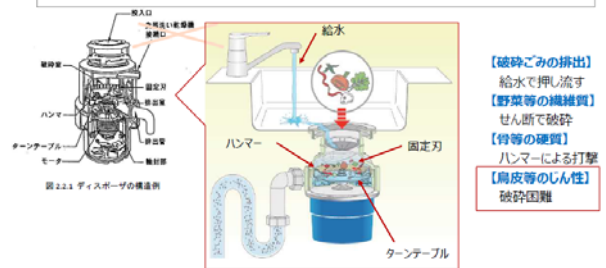
当協会では直接投入型デスポーザエリアでの研修は途に就いたばかりですが、このような地道な活動が正しいエリアでのデスポーザ普及を推し進め、当協会の活動目的であるデスポーザを用いた生ごみ処理システムの適正な普及を実現できるものとして、他の自治体にも横展開して参ります。



研修状況

## 2.1 デスポーザとは

デスポーザとは生ごみを水とともに破碎して、排水管に流す電気製品である。最も歴史の長いデスポーザはハンマーミル方式で、その構造は、外周に設置された固定刃と可動式のハンマで構成され、遠心力により生ごみを固定刃に押し付けすりつぶす構造となっている。



議論でだされた様々な意見